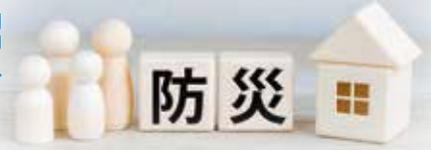


災害から家族と自分の命を守る備蓄と情報収集

災害に備えた備蓄



問い合わせ／危機管理課（内線2477）

備蓄品は「最低3日間、推奨1週間分」の用意が必要です

特に重要な3つの備蓄品

水

2L×6本×2箱
※1人1日3L

食料

**携帯
トイレ**



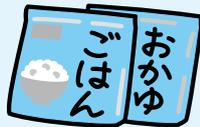
災害はいつやってくるか分かりません。災害発生後は物流が滞り、食料や日用品の調達が難しくなります。市では、最低限必要な水や食料などの備蓄に努めています。数には限りがあります。いざという時に自分や家族の命を守るため、先延ばしにせず、皆さん一人ひとりが備蓄に努めましょう。

災害時の備蓄は万全ですか？
ここ数年、夏から秋にかけて、ゲリラ豪雨や大型台風が頻繁に発生しています。
全国で甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風では、本市でも避難所を開設するなど、市民の皆さんが避難する事態となりました。また、各地で地震が相次いで発生し、本市でも今後30年以内に高い確率で震度5強以上の地震が起こることが、県の調査で示されています。
そのような災害に備えて、皆さんのご家庭では備蓄をしていますか。「何を買えばいいのかわからない」「備蓄のスペースがない」と後回しにしていますか。
災害はいつやってくるか分かりません。災害発生後は物流が滞り、食料や日用品の調達が難しくなります。市では、最低限必要な水や食料などの備蓄に努めています。数には限りがあります。いざという時に自分や家族の命を守るため、先延ばしにせず、皆さん一人ひとりが備蓄に努めましょう。

食料の備蓄の例（大人1人1週間分）

主食（エネルギー源）

- 米…2kg×1袋
- カップ麺類…3個
- 乾麺（うどん・そばなど）
パスタ…1袋（600g）
そうめん…1袋（計300g）
- パックご飯…3個



副菜（野菜・果物）・その他

- 日持ちする野菜
じゃがいも、たまねぎなど
- 野菜ジュース
- 果汁ジュース
- インスタントみそ汁
- 即席スープ
- 調味料（砂糖、塩、しょうゆなど）
- お菓子



主菜（たんぱく質）

- レトルト食品
牛丼の素やカレー等…9袋
パスタソース…3袋
- 缶詰
サバ缶、やきとり缶など…9缶



普段料理をあまりしない方には、カップラーメン、非常食、お菓子などがオススメです



ローリングストックでムダなく備蓄

ローリングストックとは、普段の食品を多めに買い置きしておき、古い物から消費し、消費した分を買い足すことで常に一定量の食品が備蓄されている状態を保つ方法です。



その他の備蓄品の例

- カセットコンロ
- カセットボンベ
- 懐中電灯
- ヘッドライト
- モバイルバッテリー
- 乾電池
- 食品用ラップ
- 食器類（紙皿、割り箸など）
- ウエットティッシュ

- 家族に合わせた準備
（常備薬、流動食、離乳食、
液体ミルク、ペット用の食
事、おしりふき、ドライシャ
ンプー、液体歯磨きなど）



カセットコンロが使えれば、災害時の食事の幅も広がります。やかんや鍋も用意しましょう。



非常持ち出し品の準備

自宅外へ避難する場合に備え、すぐに避難できるよう持ち出し品の準備をしておきましょう。一例を紹介するので、家族構成に合わせて準備しましょう。

貴重品

- 現金
- 身分証明書
- 健康保険証
- 印鑑
- 通帳

日用品

- 懐中電灯
- ラジオ
- 予備の電池
- スマートフォン、充電器
- ライター、マッチ
- 軍手
- ティッシュペーパー

衣類等

- 衣服
- 雨具
- タオル
- 毛布

医療品等

- 常用薬
- 応急医薬品（消毒液、軟膏など）
- 生理用品
- 紙おむつ、粉ミルク、ほ乳瓶

食料品関係

- 飲料水
- 非常食
（乾パン、レトルト食品、
缶詰、チョコレートなど）



非常持ち出し袋の重さの目安は、男性15kg程度、女性10kg程度とされています。重すぎないか確認しましょう。



災害から家族と自分の命を守る備蓄と情報収集

災害時の情報収集



災害が起きてからでは遅い

近年、大型台風等による大規模水害の危険性が高まっています。災害の中でも特に水害は、事前の情報収集や早めの避難によって、身を守ることができるといえます。

皆さんは、災害が起きた時、どのように情報を収集するか決めていますか。

災害発生時には、最新の情報に基づいて行動しなければなりません。特に水害発生時には、刻々と変化する状況に合わせて、最新情報を入手することが重要です。自身の環境に合わせて、どの手段で、どのような情報を入手できるか確認しておきましょう。

災害発生時は、ホームページや公式SNS (Twitter, LINE)、防災行政無線放送等を通じて、市から避難情報等を発信します。

いざというとき、迅速・的確に情報収集ができるよう、スマートフォン等へ事前に登録しておく、災害に備えましょう。

水害時の早期避難所開設

荒川増水の恐れがある場合、公民館やコミュニティセンターなどの福祉避難所を早期に開設します。その際は、ホームページやTwitter、LINEなどでお知らせしますので、情報収集を心がけてください。



情報の収集方法を確認しましょう

【スマートフォン・パソコンで情報収集】



● 鴻巣市公式ホームページ

「災害ポータルサイト」

● 鴻巣市公式Twitter

● 鴻巣市公式LINE

市が発信する避難情報や避難場所の開設情報等を確認できます。災害時は誤った情報がインターネット上に多く流れます。事前に公式ホームページのお気に入り登録や公式アカウントのフォロー・友達登録をしておくとう安心です



▲市HP「災害ポータルサイト」



▲市公式Twitter



▲市公式LINE

● 鴻巣市防災行政無線放送

メール配信サービス

防災行政無線から流れた放送内容をメールで配信します



● Yahoo!防災速報アプリ

アプリ内で鴻巣市を地点登録しておくことで、急激な気象の変化をプッシュ通知で受け取ることができます



● NHKニュース・防災アプリ

地震・台風情報をはじめ、市からの避難に関する情報も確認できます



● 国交省公式サイト

「川の防災情報」

全国の河川の水位や雨量、危険性が高まっている河川、洪水予報等を確認できます



● 気象庁公式サイト「キキクル」

大雨による土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度の高まりを5段階で表し、地図上で確認できます



警戒レベルによる避難情報

警戒レベル	避難情報など	避難行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保
4	避難指示	危険な場所から 全員退避
3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は退避
2	大雨注意報 洪水注意報	ハザードマップ等 で避難行動の確認
1	早期注意情報	災害への心構えを 高める

5段階の警戒レベルで、市民の皆さんの取るべき行動をお知らせします。

どこに避難すれば？

鴻巣市では、小学校全19校（旧笠原小学校を含む）を指定避難所に指定しており、災害の状況に応じて、補助避難所や福祉避難所も開設します。事前に自分が避難する場所を確認しておきましょう。

避難所の開設状況や混雑状況はWebサイト「VACAN Maps」で確認できます。



VACAN Maps

土のうを配布します

水害時の応急対策として、希望する世帯に最大10袋まで配布します。事前に下記へ連絡のうえ、配布場所に直接取りに来てください。配布した土のうの回収は行いません。

配布期間／8月1日(火)から

※なくなり次第終了

配布場所	連絡先
鴻巣市役所	危機管理課 内線 2213
吹上支所	地域グループ ☎ 548-1211
川里支所	地域グループ ☎ 569-1111

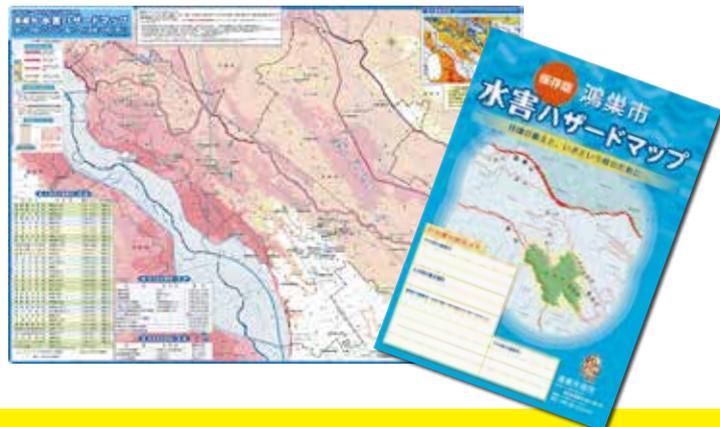
自宅の浸水深を確認しましょう

荒川や利根川などが氾濫した場合、市内の大部分が長時間浸水することが想定されています。

「鴻巣市水害ハザードマップ」で、浸水の想定や避難方法・場所を確認しておきましょう。



▲市HP「鴻巣市水害ハザードマップ」



【テレビ・ラジオ・電話で情報収集】

●テレビ埼玉・NHK総合データ放送

テレビ埼玉・NHK総合の視聴中に、テレビリモコンの④ボタンを押すことでデータ放送が表示され、鴻巣市が発信する防災情報を見ることができます

●鴻巣市防災ラジオ

暴風雨でも室内で防災行政無線の放送を聴くことができるラジオです。直近の放送も聴き直すことができます。FMラジオも聴くことができるため、ラジオ放送局の災害情報も収集できます

●フラワーラジオ (FM76.7MHz)

市との協定により、災害時には災害や避難情報を発信します

●電話応答サービス

☎048-542-2009

防災行政無線の放送内容を電話で確認することができます

※電話料金はご自身の負担となります